

令和8年1月記者会見

質疑応答の概要

②ユートミヤ（富谷市複合図書館）管理運営等事業者の決定

Q.

株式会社 JCI きっずは株式会社ジー・シー・アイの子会社で保育事業を展開しており、株式会社キオラガーデンはカフェブランド“FLATWHITE COFFEE FACTORY”を運営しているということですが、株式会社 ICHICO はどのようなことを行っている会社ですか。また、この3つの事業者はどのように選定したのか教えてください。

A.産業観光課長、図書館等複合施設開館準備室長

株式会社 ICHICO は、広告代理店やイベント業務を主に行っており、今年度開催した「第15回全国発酵食品サミット in とみや」でも企画運営に参加していただきました。スイーツステーションには、カフェ、ショップ、スイーツラボという3つの機能がございますが、株式会社 ICHICO にはスイーツステーション全体の取りまとめや情報発信などの業務を行っていただきます。また、児童屋内遊戯施設管理運営事業者につきましては、公募型プロポーザルにより株式会社 JCI きっずを選定しました。スイーツステーション管理運営事業者につきましては、仕様書の中でカフェの運営事業者を複数社選定していただくという内容で、公募型プロポーザルを行い、株式会社 ICHICO を選定しました。そして、株式会社 ICHICO から推薦いただいた複数社のカフェの運営事業者の中から、スイーツステーションのカフェ運営にふさわしい事業者ということで、株式会社キオラガーデンを市で選定しました。

Q.

スイーツラボは何をする場でしょうか。

A.産業観光課長

開設当初は、カフェ運営事業者が主に使用する厨房のような形で考えていますが、いずれは運営事業者と話をしながら、ワークショップなども行っていきたいと考えております。

Q.

ショップでは市内のスイーツなどを売るのでしょうか。

A.産業観光課長

市内のスイーツ店にご協力をいただきながら、販売したいと考えています。また、市のスイーツに関わる特産品なども並べていきたいと考えております。

Q.

カフェは“FLATWHITE COFFEE FACTORY”の支店ということになるのでしょうか。

A.産業観光課長

“FLATWHITE COFFEE FACTORY”が展開する店舗の1つとなります。

③「公開富谷塾」自走式ロープウェイ開発者に学ぶ若手起業家講演会の開催

Q.

今回の講演会には塾生も参加されるのですか。また、今回の講演会を開催する目的をお聞かせください。さらに、昨年11月に導入可能性調査でルート案をお示しされたと思いますが、令和8年度以降はどのような取組を行う予定ですか。

A.市長

まず、参加者につきましては、定例の富谷塾ということでございますので、塾生は基本的には全員参加対象でございます。今回の公開富谷塾の目的につきましては、多くの市民の皆さまや関係者が、自走式ロープウェイに対して関心が高まっているところだと思います。なかなか代表取締役CEOのお話を直接聞く機会はありませんので、市民の皆さまはじめ、関心を持たれている方々に広く参加いただき、自走式ロープウェイについてご理解を賜りたいという思いから公開型にしたところです。今後につきましては、導入可能性調査を行い、先日報告書を発表したところでございますが、現在、Zip Infrastructure株式会社にて国土交通省に軌道系の認可取得について協議を行っている状況と伺っています。令和8年度以降も引き続き、認可の動向も注視しながら、導入可能性調査を踏まえ、独自調査や視察などを行っていきたいと考えております。

Q.

自走式ロープウェイに関して、改めてどういった部分を独自調査していくのか、さらに軌道系の認可について、どのくらいの時期を見通しているのか教えてください。

A.市長

独自調査につきましては、今回、導入可能性調査でいただいた資料に基づき、経路や支柱を建てる場所など、さらに詳細な部分の調査を進めてまいります。軌道系の認可につきましては、代表取締役CEOともさまざまな情報交換を行っている状況ですが、今のところ、明確にいつ認可が下りるというのは分かりかねる状況です。ただ、そこまで長く先送りはできないとも思っております。現在、なるべく早い段階で認可をもらえるように必要な手続きを行っているということなので、それを待ちたいと思っております。

その他の案件

Q.

昨日、衆院選が公示になりましたが、今回の衆院選に関して注目しているポイントを教えてください。

A.市長

突然の短期間での衆議院解散総選挙ということで、自治体としては選挙事務を滞りなく行うために、急ピッチで準備を進めたところです。さらに、投票率も高くなるように、広報活動にも励んでいきたいと思っております。今回は突然選挙が決まったので、これまでと違い、イオンモール富谷に期日前投票所を設けることができませんでしたが、多くの皆さまにご参加いただきたいと思っております。また、この時期の大寒波の中での選挙ということで皆さまへの心配もありますが、無事に有権者の皆さまが投票所に足を運んで投票を行えるように、万全の体制を整えていきたいと思っております。そして、今回の衆院選につきましては、これまで自公政権だったのが、自民党と日本維新の会の連立となりました。初の女性総理大臣が誕生した中で、自民党と日本維新の会が与党に、そして公明党と立憲民主党が中道改革連合として新しい党を結成しての選挙ということで、そのあたりは大変注目しております。なお、他にも注目されている政党がありますので、今後の動向を注視してまいります。

Q.

宮城 4 区の現状の地域課題は、特にどのようなところにあると捉えていて、どういった議論を期待していますか。また、宮城 4 区の立候補者の中で、応援に入る予定があれば教えてください。

A.市長

宮城 4 区に限らず、現在の一番の関心事はやはり経済対策だと思っております。円安や物価高騰という大変厳しい環境の中で、どのような対策を取っていくかが、今回大きい争点になるのではないかと感じております。また、応援につきましては、今のところどなたからもご依頼をいただいているところでございますので、その段階で考えたいと思っております。ただ、今回は突然の解散であり、私も公務でほとんど日程が固まっているので、ご依頼を受けても対応できるかは難しいところかなと考えております。